

## ■一般目標 (GIO)

口腔保健において保健指導および予防処置等を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎事項を学ぶ。特に第1学年では、う蝕と歯周病を中心とした口腔疾患の予防法の概要を理解し、口腔領域の健康づくりの基礎的な知識を習得する。

## ■到達目標 (SB0s)

- ・ 歯・口腔の発育変化と機能を説明できる。
- ・ 歯・口腔の環境を説明できる。
- ・ 口腔清掃の基礎とブラッシング法や歯磨剤を説明できる。
- ・ う蝕の基礎と予防法、指標を説明できる。
- ・ 歯周疾患の基礎と予防法、指標を説明できる。
- ・ その他の歯科疾患の基礎と予防法、指標を説明できる。

■教科書：歯科衛生士テキスト口腔衛生学（学建書院）第4版

■参考書：必要に応じて講義内にて指示する。

■授業時間：金曜日 10：00～10：50  
11：00～11：50

■オフィスアワー：田中 秀樹 月～木曜日 17：00～18：00 (tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp)  
中井久美子 月～木曜日 17：00～18：00 (nakai.kumiko10@nihon-u.ac.jp)  
尾崎 愛美 月～水曜日 17：00～18：00 (ozaki.manami@nihon-u.ac.jp)

■授業の方法：スライドを用いた講義を主とする。

■準備学習・（予習・復習）

準備学習時間：予習を十分に行い、当日の学修到達目標を理解しておくこと。

■成績評価方法：平常試験（30%）、後期終了後の定期試験（70%）で評価する。

■注意事項：教科書を持参すること。なお、平常試験を3回実施する。

■実務経験：田中秀樹：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から、歯科疾患の第1次、第2次、第3次予防の実際を説明する。

中井久美子：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から、歯科疾患の第1次、第2次、第3次予防の実際を説明する。

尾崎愛美：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から、歯科疾患の第1次、第2次、第3次予防の実際を説明する。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 6月12日 (2限のみ) 中井 久美子	1. 口腔衛生とは 1) 口腔衛生の意義 2) 口腔と健康 3) 歯・口の発育変化  (教) pp. 1-12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域保健における口腔衛生の位置付けを知る。</li> <li>・ 疾病予防の段階と歯科衛生士の役割を理解する。</li> <li>・ 咀嚼, 味覚, 発音などの口腔の各機能について理解する。</li> <li>・ 加齢による口腔機能の変化について理解する。</li> </ul>
第2・3回 6月19日 尾崎 愛美	2. 口腔環境 1) 唾液の成分 2) 唾液の作用 3) ペリクル 4) 口腔微生物 (教) pp. 13-17  3. 歯・口腔の不潔 1) プラーク 2) 歯石 3) 着色性沈着物 4) 舌苔 (教) pp. 17-25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯の健康と関連する環境要因のうち, 唾液の口腔衛生学的な意義や役割について学ぶ。</li> <li>・ 歯の健康と関連が深い口腔微生物について概要を学ぶ。</li> <li>・ 口腔の付着物についての基礎的な知識を得る。</li> <li>・ プラークの形成と成熟について学ぶ。</li> <li>・ 歯石形成とその為害作用について学ぶ。</li> <li>・ 歯垢, 歯石以外の口腔の不潔物について学ぶ。</li> </ul>
第4・5回 6月26日 尾崎 愛美	4. う蝕の予防-1 1) う蝕の基礎知識 2) う蝕発症のメカニズム 3) 初期う蝕の再石灰化 (教) pp. 43-47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本でのう蝕の有病状況について学ぶ。</li> <li>・ う蝕の進行段階における特性について理解する。</li> <li>・ う蝕の発生要因を学び, う蝕発生機序との関連性を理解する。</li> <li>・ 初期う蝕において認められる再石灰化現象について理解する。</li> </ul>
第6・7回 7月3日 尾崎 愛美	5. う蝕の予防-2 1) う蝕活動性試験 2) エナメル質う蝕と根面う蝕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ う蝕のなりやすさ, 進みややすさを, う蝕の発生要因の視点から理解する。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	3) う蝕の予防法 (教) pp. 48-54	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 指標（リスク試験）としてのう蝕活動性試験について理解する。エナメル質う蝕と根面う蝕の違いについて理解する。</li> <li>• う蝕が多要因性疾患であることを踏まえて、各発生要因からう蝕予防方法を考える。</li> </ul>
第8・9回 7月10日 尾崎 愛美	6. 平常試験および解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 第2回～第7回の確認のための小テストを行う。</li> </ul>